



2017年6月14日

各 位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)
問合せ先 執行役員 IR・PR 室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7700)

当社投資先企業である株式会社ピクセラ (東証2部 6731) の昨日の公表に関するお知らせ

昨日、株式会社ピクセラ (以下ピクセラ社) より公表された、「セットトップボックス (STB) に関する報道について」に関して、お知らせいたします。

記

BS 4K放送受信対応セットトップボックス (STB) を自社ブランドで販売

当社は、2016年8月にピクセラ社の事業戦略 (下記記載) の投資資金として総額20億円のエクイティファイナンス引受を実施しました。

昨日、ピクセラ社より公表された同社製品に関するメディア報道で、2018年より放送が開始されるBS 4K放送が現状市販の4K対応テレビでは受信できないため、「総務省は2018年の放送開始に合わせてセットボックス機器 (STB) が別途必要になる」と注意喚起を行っていることや、ピクセラ社をBS 4K放送が受信できる機器を発売する企業としてあげられております。

同社は新製品として、BS 4K放送受信対応のセットボックス (STB) の販売に向け準備をしておりますが、同社の製品はBS 4K放送の受信以外にもTV画面でWebブラウジングや動画などのコンテンツ視聴やインターネット検索など、モバイル機器で使える多くの機能など、IoT機能、AR/VR機能、AI・ビッグデータ機能等を付加した同社オリジナル仕様で、自社ブランドにて販売を計画しております。

また、ピクセラ社は、大手事業者からセットトップボックス (STB) の開発を受注しており、年内の納入に向けて順調に進捗しております。

なお、すでに2011年より発売開始された4Kテレビの累計出荷台数は200万台を超えており (出所: 電子情報技術産業協会 (JEITA)) ますが、2018年に放送予定されているBS 4K放送を視聴するためには新たなセットボックスが必要となることから、この分野においてピクセラ社の新製品は期待できるものと判断しております。

ピクセラ社の事業戦略

【AR/VR 事業】

BS 4Kテレビ映像受信機、人工知能を搭載したサーバー接続の次世代スマート4K映像受信機ならびにIoT機能を高めたTVチューナー搭載等のセットボックス

【IoT 関連事業】

【自動多言語翻訳システム事業】

- コーポレートサイト -

ピクセラ社 <http://www.pixela.co.jp/>

以 上